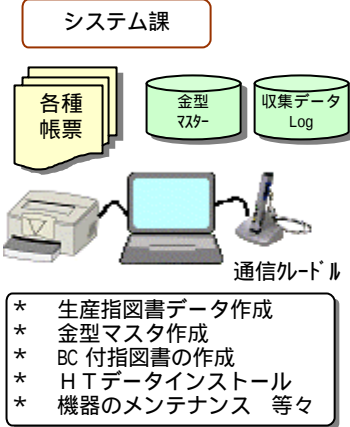
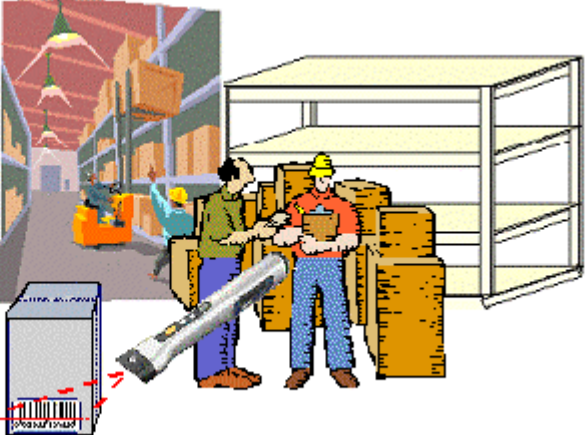


分類項目 F A	成型金型ロケーション管理システム 金型ロケーション管理』
導入業種	プラスチック成型加工業者(成型金型管理)
主要機器	PC、Sparklet(DHT-101)、光通信ボックス、ラベルプリンタ
導入環境 並びに 導入前の問題	成型金型の管理は棚に名前シールを貼付けて管理をしているが、多品種少量生産の流れで預かり金型が多くなり、出し入れに迷うこともあり、担当者でないと直ぐに分らない事もあり改善が必要である。 ・ 受注時の金型場所の確認 ・ 完了時の返却場所確認 ・ 棚卸し時の金型の有無確認 等が簡単に誰でもが出来るように改善したい。
システム概要 システム構成	預かり金型のデータベースの中に棚番データも併せて持つことで金型の保管ロケーション管理を可能にし、そのデータを Sparklet(DHT-101)(HT)に持たすことで保管ロケーションの液晶表示が金型 BC の読取で可能となる。 これにより、指図書発行時に金型の BC を添付印刷することで 受注時の金型場所の確認」ができ、完了時の返却場所確認」は金型現物の BC を読むことで可能となる。 棚卸し時の金型の有無確認」は棚番と金型現物の BC を読取り、データ収集をすることで実質棚卸しデータとデータベースデータの照合確認が可能となる。  システム課 各種帳票 金型マスター 収集データ Log 通信ケーブル * 生産指図書データ作成 * 金型マスター作成 * BC 付指図書の作成 * HTデータインストール * 機器のメンテナンス 等々 
導入による効果	データベースの整理とHT の利用でロケーション管理と棚卸し管理が可能となった。 指図書に使用金型 BC を印字することで金型の在り処が誰でもが判るようになった 棚への金型返却時のデータ記録を取ることが可能になり、雑な返却が無くなり管理が行き届くようになった 棚卸し作業が簡単になり、実棚の回数を多く出来るようになった。
その他	